

令和元年度 第1回東郷町地域ケア推進会議：議事録

日時	令和元年5月23日(木) 14時00分～15時30分
場所	東郷町役場3階 政策審議会議室
出席者	<p>委員 ※敬称略、順不同</p> <p>松浦誠司 医師(東名古屋東郷町医師会)</p> <p>岡松猛 歯科医師(愛豊歯科医師会東郷支部)</p> <p>佐藤裕美 薬剤師(東郷町薬剤師会)</p> <p>福島美佐子 訪問看護師(虹色訪問看護ステーション)</p> <p>木村誠子 瀬戸保健所 健康支援課</p> <p>土井肇 東郷町北部地域包括支援センター</p> <p>山内恵介 東郷町南部地域包括支援センター東郷苑</p> <p>制野司 有識者(社会福祉法人 昭徳会)</p> <p>村井良則 有識者(東名古屋医師会在宅医療介護総合研究センターやまびこ)</p> <p>池田寛 有識者(豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし)</p> <p>近藤正弘 東郷町民生委員児童委員連絡協議会</p> <p>野々山清子 東郷町民生委員児童委員連絡協議会</p> <p>柴田典義 施設サービス関係(愛厚ホーム東郷苑)</p> <p>近藤修司 居宅サービス関係(エイジトピア諸輪)</p> <p>松山陽二 居宅介護支援事業所(もみの木)</p> <p>神脇和美 住民代表(第1号被保険者)</p> <p>海老原由美 住民代表(第2号被保険者)</p> <p>森本美香 こども健康部 健康推進課</p> <p>近藤秀己 東郷町社会福祉協議会</p> <p>中井香里 こども健康部 健康推進課</p>
欠席者	水野逸馬 東郷町社会福祉協議会
傍聴者	なし
事務局	<p>福祉部長</p> <p>高齢者支援課長(進行)</p> <p>高齢者支援課職員 4名</p>
議題	<p>1 委嘱状交付</p> <p>2 在宅医療・介護連携推進部会の部会委員の指名</p> <p>3 報告事項</p> <p>(1) 東郷町地域ケア推進会議設置要綱の改正について</p> <p>(2) 平成30年度在宅医療・介護連携推進部会について</p> <p>(3) 平成30年度地域支え合い協議体について</p> <p>(4) 令和元年度の新規(見直し)事業について</p> <p>4 議題</p> <p>東郷町の地域課題について</p>

	<p>5 その他</p> <p>第8期東郷町高齢者福祉計画策定スケジュール（案）について</p>
配布資料	<p>次第</p> <p>資料(1) 東郷町地域ケア推進会議設置要綱の一部改正について</p> <p>資料(2) 平成30年度在宅医療・介護連携推進部会 報告書</p> <p>資料(2)-1 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはし報告書</p> <p>資料(3) 平成30年度地域支え合い協議体の活動報告</p> <p>資料(4) 令和元年度の新規（見直し）事業</p> <p>資料(5) 地域課題意見シート（図、まとめ）</p> <p>資料(5)-1 地域課題検討シート</p> <p>資料(6) 第8期高齢者福祉計画策定スケジュール（案）</p>

1 委嘱状交付

2 あいさつ（委員長）

3 委員長及び委員長職務代理者の選任

事務局	東郷町地域ケア推進会議設置要綱第5条第1項の規定により、地域ケア推進会議に「在宅医療・介護連携推進部会」を置くことになっている。また、要綱第5条第2項の規定により、委員長が委員に諮り、委員の中から部会委員を指名することとなっているので、今年度新たに指名すべき委員がいましたら、委員長から指名願います。
委員長	山内委員、お願いします。
事務局	それでは今年度新たに、山内委員にも部会委員をお願いしたいと思うがいかがでしょうか。
委員	異議なし。
事務局	異議がないようですので、山内委員、お願いします。

4 報告事項

(1) 東郷町地域ケア推進会議設置要綱の一部改正について

事務局	資料説明。資料(1)
委員長	事務局から説明を頂いた。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

(2) 平成30年度在宅医療・介護連携推進部会について

事務局	資料説明。資料(2)
委員	資料説明。資料(2)-1
委員長	事務局及び豊明東郷医療介護サポートセンターかけはしから説明を頂いた。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

(3) 平成30年度地域支え合い協議体について

事務局	資料説明。資料(3)
委員長	事務局から説明を頂いた。ご意見・ご質問がないようなので、次に移る。

(4) 令和元年度の新規（見直し）事業について

事務局	資料説明。資料(4)
委員長	事務から説明を頂いた。ご意見・ご質問はありますか。
委員	介護保険系の自立支援リハビリサービスの実績について。去年から始めていて、とても力を入れてやっていたと思うが、実績はどれくらいか。
事務局	少し寂しいものになっており、昨年度は2名が利用した。介護保険系としても推進していくため、介護認定審査会で要支援1と2に判定された人にはチラシを同封して案内するというのを、今年の4月頃から新たに行っている。また地域

	包括支援センター（以下「包括」という。）と協力して推進していきたいと思うので、よろしくお願いします。
委員	健康推進課でやっている栄養指導は、今どのような取組をしているのか。
委員	健康推進課は、管理栄養士が1名いて、みんなの栄養相談ということで、病院から紹介してもらった場合もあるし、本人が栄養のことで心配なことがあると来庁する人もいます。訪問もできる。定期的な訪問というよりは、先生から連絡があり、いこまい館まで来られない人の家庭に訪問して、相談に乗るということもできる。
委員長	高齢者支援系の社会参加ポイント制度について。他の行政でもやっているところもあるかと思うが、社会交流を図るきっかけづくりということで、ある程度見通しや見込みがたっているのか、本当に手探りでスタートになるのか、イメージとしてはどうなのか。ある程度の要望の中でここまでの形になっているのか。
事務局	要望は確認がとれていないが、地区のサロンが東郷町の中で40ヶ所程度あるので、そちらには定期的に通っている人がいる。登録したサロンでないと社会参加ポイントのスタンプを押すことができないので、先日説明会においてサロンの人にも登録等の依頼をした。その説明会の中で賛同していただいた人たちには登録してもらった。その中でも、口コミで地域に広がっていくと良いという話はした。今現在通っている人たちにはポイントを付ければ良いが、15回行って15ポイント貯めないと500円もらえない。最大年間60ポイントで2,000円までとなるので、少しでもという励みにして皆さんで声をかけあって広めていくような形が取れればと思っている。今度の6月からは始めるので、まだ手探りというところはある。今後色々なことを話し合い検討して、変えていけるところは変えていきたいと思う。
委員長	どちらにしても、1年たって数字である程度検証・分析ができると良い。ぜひとも期待していきたいと思う。

5 議題

東郷町の地域課題について

事務局	資料説明。資料(5)、(5)-1
(個人に関する情報が含まれているため非公開)	
委員	地域全体として捉える課題に「関係機関や地域住民の方への認知症理解を深める取組が必要」とあるが、上の階の方や集合住宅の人は、どれくらい本人が認知症であることを知っているのか。以前、「毎日がアルツハイマー」という映画を上映した際に、監督自身の母親の話だったが、母親のゴミ捨てがグチャグチャになってしまい、近所の人から迷惑がられていたが、近所の人にこの人は認知症だけ一人で暮らしているという情報を提供したところ、今まで一人でグチャグチャにやっていると置いていたが、一人で頑張っているんだと思ってもらえるように近所の人が変わったという話が印象的だった。普通だったら隠したいことだと思うが、このように地域の方に情報提供をすることが大切。その監督も、情報提供して良かったと言っていた話が今でも残っている。

(個人に関する情報が含まれているため非公開)	
委員	<p>この件は民生委員から出ているということで説明を聞いていた。やはりこういうケースは今も現実的にここ以外にもあるのではないかと思う。私の場合も、隣の息子が夜中になってステレオをガンガンと鳴らして喧しいが、怒ると怖いから怒れない。どうしたらよいかと悩んでいたケースもあった。一応警察には相談したが、こういうケースがそこら中にあるのではないかと思う。ここで地域住民という話が出ているが、まわりの人がまとまってその相談に乗っていくという体制が望ましいが、なかなか難しいのではないかと思う。多分、地域の人に聞くと、そんなことを自分たちが手を出してもしょうがないから役場に行けど、問題が包括や役場に出されるような気がする。なので、地域住民がということはなかなか難しいので、個人的には包括や民生委員あるいは周りの人や行政、地域住民などが知恵を出し合って、委員からも話があったように、最終的には在宅が無理ということであれば、何とかある程度の期間をかけて説得をしていけば、本人にも理解してもらえるのではないかと思う。地域住民に任せたという形にはなかなかならないと思う。これからだんだんと一人暮らしの人が増えていくと、認知症の問題があって非常に難しいし、本人は認知症ではないとはっきり言う。下手に認知症だと言うと反感を持たれるので、この辺が一番難しい。また、一方的に話をして、なかなか聞く耳を持たない。それをどういう形で聞く耳を持たせるか、本人とよく話をして、なんとか本人がここなら一番信頼をおけるというように話を持っていけると、たまには聞いてもらえるのではないかと思う。これからも民生委員は色々なところで出てきて、包括や役場に相談に行くと思うのでその時はよろしくをお願いします。</p>
委員	<p>最近特に、地域住民やお隣さんとの付き合いを大事にしていくことが大切だと、役場から耳にたこができるくらい聞かされている。しかし、肝心な地域の住民たちは、そういうことに対して意識が非常に低い。困っている問題をあちらこちらで聞いてみても、非常に冷たい反応が返ってくることの方が多い。なぜかというところ、自分の生活を守るのに精一杯で、人様の事までもということや、帰ってきて寝るだけだから町の助けを得なくても良いということだった。協力を得ることができる地域住民の意識が非常に低いということも一つの問題になる。みんなが助け合っていくのであれば、やはり地域住民の意識を高める方法もひとつは考えていかないといけないと気付いた。そして、実際に認知症を患っている人及びその周りの人は、情報を頑なに守ろうとする。発信したくないし、私は認知症ではないと言う。その情報を本人が抱え込もうとするところにも、やはり問題が潜んでいるのではないかということを感じた。</p>
(個人に関する情報が含まれているため非公開)	
委員長	<p>前回までにケースの1から3まで話をした。上手にまとめてもらったので、今日はこのまとめを見て、東郷町の5年先10年先を考える。少し情報が乏しいと思うが、こういうケースが増えてきているということ、複合的な問題になり難しくなっていることを考えながら、東郷町はどうしていきべきなのか。実はこれが</p>

	<p>地域包括ケアシステム・地域共生社会につながっていくものであるため、少しイメージができることを意見だけでももらえればと思う。医療的な側面もあれば、ソーシャルワークの観点からということもあるかもしれない。また人口の構成はどうなっていくのか、この間に認知症サポーターはどのように増えていくのか、諸々切り口はあると思うが、5年先10年先の東郷町を考える上で皆さんの意見を頂戴したいと思う。</p>
委員	<p>昨年度に組長をやった。自分の近くも高齢の方が多く、なかなか自身だけで住める人が少ない。ご近所さんや隣の人を知らない人が多いので、地域としても皆さんとやっていけたらと思う。また、色々な話を聞いて、私たちは専門的な知識がないので、認知症と聞くと身構える人が多いので、知識を増やしていけたら良いと思う。</p>
委員長	<p>余談ですが、ある研修で、これからは若い地域の人が自分の行政区、この会場でいえば東郷町のマッピングができていないとだめだと言われる人がいた。例えば本町でいえば病院は広域的なところでいくと、大きい病院として豊明市に甘えている部分がある。地域でクリニックをやっているところはいったいどういうところに何のクリニックがあり、相談する窓口はどこにあるのかのようなことを、若い人が上手くマッピング出来ているところが増えている地域が強いというような話があって、先ほども委員からも話があったように、そこに興味がない若者が多いというのはマイナスポイントになると感じた。地域の事を知るということは、まず大事なことだと思った。</p>
委員	<p>委員長の話にあったとおり、10年前に比べて今の時代でも、AIとかスマートフォンとかは想像にもなかった。今は何でも機械化されてAIとかがどんどん出てくると思うが、アナログなご近所さんとの心のこもったお付き合いというのは何とか大事にしていきたいという反面、先ほど気づいたのは委員が言ったとおり、先ほどのケースでいえば、話し相手がいれば良いのではないかということ。もしかしたら10年後に独居老人の家庭に話し相手のAIがあったりすると、少し心がほぐれて近所迷惑という話が少なくなるのかもしれない。交番とかに行っても、本部とは繋がっているかもしれないがAIみたいな人形がいて、お巡りさんはいないけれどモニターを通しての会話というのをよく見る。独居の人のところでもそのような技術があると良いだろうけど、近所とのお付き合いというものも少しは残していきたいという気持ちもある。</p>
委員長	<p>一家に一台という時代がくるのかもしれない。今は商業施設でも、案内してくれるのはAIのロボットという話もあるし、間違いなく10年後には進む話な気がする。</p>
委員	<p>この3ケースはとても重たいと思った。委員が言ったとおり、やはり地域の意識もそうである。私たちが訪問していると家族が病気の理解ができておらず、特に認知症は否定したい。先ほどのケースでも、やれているから良いのではないかということになるが、本人は何かを求めて行動するので、そこを本当に丁寧にその都度解決して、また同じことを聞くけれども喧嘩にならないように同じことを</p>

	<p>言うということになると良いのではないか。それが一番進行させない一つだと思っている。ケース3でも、きっと本人がじっくりこないから進行しているのではないかと思う。地域の意識は色々な会を通じて深めるしかないし、あえてやっぺいかないと薄まる一方だと思う。まとめられたケースの中に、全体的に誰がキーパーソンなのか、地域のサポートする人とか委員長が挨拶でも言っていた家族の後見人とかそのような人と、地域なり友達なり介護職員なりがその人ときちんと結びつくということがとても大事。その人の言うことなら聞く、ということがあると、施設も何とか「うん」と言ってくれる。自分も訪問していて、家族もそうだし本人も施設に行かないと言うけれど、何回も何回も繰り返して、何回も何回も言って、あの手この手としている間に面識が得られる。そうすると、この人の言うことは聞くという人から話を聞くと、納得して平和だなということもある。ケース3も、きっと色々な人が関わって行って、まとまっていないと思う。気になる人には、民生委員でも良いので関係を濃くしてもらい、そこから次に繋げる。ケアマネジャーも一人で抱えないで他の人と関わる。先生たちもそうだし、皆さんがそうなるが良いと思う。先が楽しみだ。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。キーパーソンの人専門性が大事。また、キーパーソンの人信頼も大事ということですね。ケース1から3でも、そういうところが少し見えると思う。上手くまとめていただいているので、また少し目を通していただき、ぜひまたここから一つずつ意見が出てこればありがたいと思う。</p>

4 その他

事務局	資料説明。資料(6)
委員長	<p>第7期計画が始まってこれで1年が過ぎたということだが、早いものでもう第8期に向けて会議を進めるということになる。各行政が苦しんでいるところはあるが、この1、2回の計画で大きな変化を求められる気がする。皆さんの意見が大変大事になってくると思うので、ぜひとも協力をお願いします。</p>
委員	<p>社会参加ポイント制度について。今、自分は高齢者を相手することが多いが、ポイントを集めることを互いに競争しあい、スーパーのポイントなどを集めている人がとても多いように感じる。そうすると、ポイントについての話題ができるので、隣同士と話ができると思う。なおかつ、高齢者に対してポイントを集めましょうというのは、いくつ集めたらこうなる、クオカードをもらったというような話を通じて、もっと下の方で隣の近所と手が携えられたら良いと思い、非常に期待している。ただ、それに関する事務手続きについて。実際15ポイントたまつたと1人1人が時間をみて巡回バスに乗り、社会福祉協議会に行ってクオカードに変える。1人ずつ来たら大変な作業になると思う。一方で老人クラブに委託してポイント交換のスタンプを押してもらおうということになると、どこでクオカードと交換できるのか。そのような、予想される問題をもう少し細部に渡って考えいただき、それはこう、これはこうと確たる答えがもらえるようなポイント制度を実施してもらえればと思う。理解している部分もあるが、みんなが分かりや</p>

	<p>すくするためにそういう部分を含めて、ぜひ協力をしたいと思っているのでよろしくをお願いします。</p>
委員長	<p>そんなにポイントが盛り上がっているとは知らなかった。</p>
委員	<p>男の人はあまりポイントに興味ないが、女の方はいくつもらってるとか、これをもらったという会話をする。</p>
委員	<p>どこのサロンに行くとポイントがもらえるとか、広報などで地域に PR はされているのか。</p>
事務局	<p>6月号の広報に掲載している。あとは、老人クラブには6月の定例会の時に再度話をする。シニアハウスなどの老人クラブの活動に参加してもポイントになる。登録していただく団体には説明をする。</p>
委員	<p>6月号の広報を見れば、どこでポイントがもらえるかなどが分かるのですね。</p>
事務局	<p>はい。介護予防教室とかも対象になるので、広報やホームページでお知らせしていきたいと思う。また、健康推進課が先行で行っている事業である、いきいき健康マイレージと、高齢者の人は併用してポイントをもらうことは可能。</p>
委員	<p>種類が違うのか。</p>
委員	<p>健康推進課のものは、健康診断でも良いし町や地区で行う教室でも良い。自分の健康に良いことであれば、自主的にポイントがつくのでぜひ。</p>
委員	<p>高齢者は、これは健康推進課これほどどこどこ課というのは頭が混乱するので、できるだけそういう点も予想される問題として考えの中に入れてほしいと考える。</p>
委員	<p>クオカードが交換でもらえるのか。</p>
事務局	<p>はい。ポイントを15ポイント貯めると、現金ではなく500円のクオカードになる。</p>
委員	<p>健康推進課でもらえるのは商品券で、町内のお店のみだった。</p>
事務局	<p>社会参加ポイントはクオカードなので、全国どこでも使える。やはり少しずつれるところはある。</p>
委員	<p>健康推進課でも、いきいき健康マイレージと社会参加ポイントを一緒においておく。</p>
委員長	<p>ありがとうございました。その他ご意見がないようであれば、議題は以上とする。進行を事務局へ戻す。</p>
事務局	<p>次回は、8月26日（月）の午後2時より役場2階大会議室で開催するので、出席をお願いします。 本日はありがとうございました。</p>

以上